



第3回 大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会を 開催します

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに越後平野の洪水氾濫防御や水利用に大きな役割を果たしてきました。しかし、建設以来70年以上が経過し、施設の老朽化による堰基礎下部の空洞化や堰上下流の河床低下の進行により安全性が低下したため、平成15年度より大河津可動堰特定構造物改築事業として新たな可動堰の建設に着手し、平成25年度完成目処に事業を進めています。

信濃川河川事務所では、大規模な事業を効率的・効果的に実施するため、コスト縮減策やその実施状況、工事工程の進捗状況等について、第三者から意見・助言を頂き、一層の事業費・工程管理の充実を図る事を目的として、平成20年9月に「大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会」を設置し検討を進めてきました。

今回、第3回委員会を下記の通り開催しますのでお知らせします。

記

1. 開催日時 平成22年5月11日（火） 13:00～15:00
2. 開催場所 信濃川大河津資料館（2階会議室）
新潟県燕市五千石
3. 内 容 (1) 大河津可動堰改築事業の進捗状況
(2) コスト縮減の取り組み

※ 当日は、午前10時から12時まで、工事の実施状況を視察し、午後に会議を行う予定です。取材は、午前の現場視察から会議冒頭の挨拶までとさせていただきます。会議内容等については、会議終了後に事務局で説明させていただきます。

取扱い

本資料の発表をもって解禁とする。

同時記者発表クラブ

長岡市政記者会
週旬刊記者会

【問い合わせ先】

◆ 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
副所長（技術）酒井 大助 TEL：0258-32-3020
建設専門官 石川 一栄 TEL：0258-32-3234

【別添】

大河津可動堰特定構造物改築事業監理委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略、○は委員長)

氏 名	所 属・役 職	分 野
○西澤 輝泰	新潟大学 名誉教授	経 済
細山田 得三	長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授	河川工学
丸井 英明	新潟大学 災害復興科学センター 教授	防 災

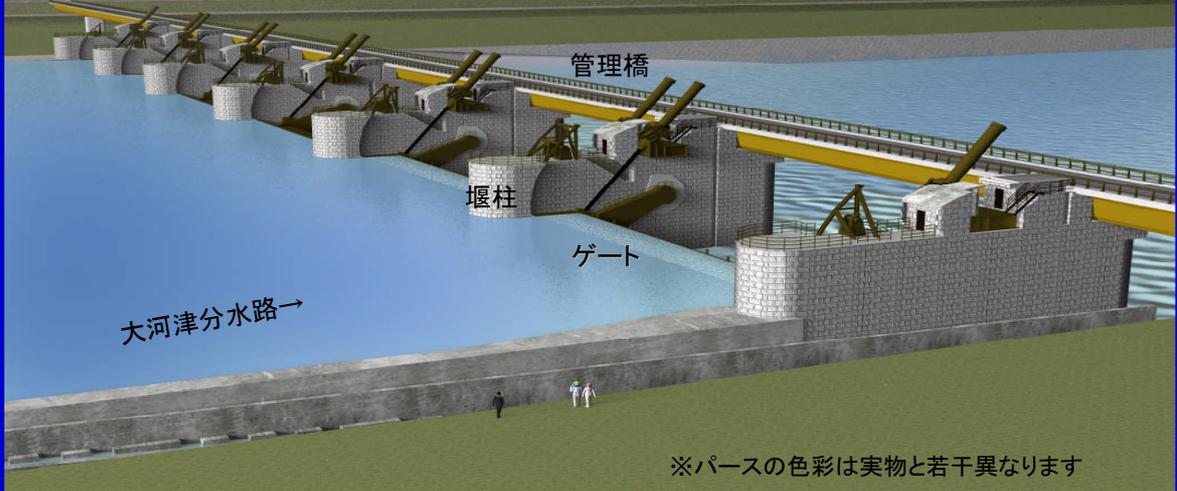
大河津分水可動堰工事現場写真

可動堰完成イメージパース

近景: 右岸上流高水敷より

管理橋: からし色

ゲート: うぐいす色



平成22年4月27日 工事仮締切上流側から撮影

